



CONTENTS

特集1	新年のごあいさつ (福岡市長・理事長)	2
特集2	専任担当理事への インタビュー	4
	就業先情報(博多区)	4
	7区通信	5
	労働者派遣事業	14
	手取除草配分金変更/就業会員募集	16
	会議開催状況	17
	実績報告/事故発生状況	18
	歴史散歩(東区)	19
	互助会だより	20
	会員のひろば	22
	事務局からのお知らせ/編集後記	裏表紙



やらのさき
能古島 也良崎万葉歌碑

はくすきのえ
白村江の戦い(663年)に敗れた後、朝廷は北部九州各地に「防人」を置いたと日本書紀に見ますが、也良崎が事実として唯一証明されている場所と言われています。
此处に荒雄伝説を詠んだ万葉歌碑があります。

絵:岡崎 幸雄(西出張所)

特集 1 2013年 新年のごあいさつ

福岡市長 高島 宗一郎



福岡市シルバー人材センターの皆様、新年おめでとうございます。

皆様方におかれましては、すがすがしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

福岡市シルバー人材センターにおかれましては、昭和58年の設立以来、就業を通じて健康維持や社会参加に寄与されるとともに、地域社会の活性化、福祉の向上にも貢献していただいております。深く敬意を表します。

さて、現在日本では、世界に例を見ない速さで高齢化が進展しており、超高齢社会の到来を見据えた対応が求められています。

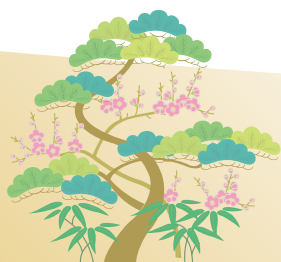
福岡市では、平成24年3月に「高齢者保健福祉計画」を策定し、「高齢者一人ひとりが、生きがいを持ち尊厳を保ちながら住み慣れた地域で自立した生活を安心して続けることができる地域社会の形成」を基本理念とした様々な取り組みを進めています。

なかでも、健康でいきいきとした豊かなシニアライフを実現するため、高齢期を迎えてからも、豊かな経験、知識、能力を活かして活躍していただくことが期待されており、高齢者の皆様の「就業機会の確保」は重要な課題の一つと考えています。

福岡市といたしましては、今後とも高齢者の就業を通じた生きがいの充実や社会参加を推進するため、会員の皆様が活発に活動を行えるよう支援を続けてまいります。また、貴センターにおかれましても、更なる発展に向けて、多様なニーズに応じた新たな職域の拡大や自主的運営の促進に取り組んでいかれますよう、大いに期待しております。

今年も市民の皆様に積極的に情報をお伝えし、福岡市をもっと活気のある、みんながいきいきと輝ける、暮らしやすい都市にしていくために、全力で市政運営に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、今年が皆様にとりまして幸多い年となりますよう、心から祈念いたします。



理事長 生田 征生



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

昭和58年6月に福岡市シルバー人材センターが設立され、本年で30周年という記念の年を迎えます。このことは、会員の皆様をはじめ、役員・事務局の皆様の日頃からのご努力はもとより、福岡市をはじめとする関係団体の方々や当センターをご利用くださっている皆様方の永年にわたるご支援・ご協力によるものと、感謝とお礼を申し上げます。

当センターは、昨年4月に公益社団法人として新たな出発をいたしました。公益社団法人として地域社会からの信頼に応えるために、私たちはより一層高い意識を持って、適正就業や公平で効率的な事業運営に努めていかなければなりません。この不断の努力により、今後ますますシルバー人材センターへの信頼が高くなることを目指します。

さて、「高齢者雇用安定法」が改正され、平成25年4月より企業は希望する社員全てを65歳まで継続雇用制度の対象者とすることを義務付けられます。この法律改正は、64歳までの新規入会者数の減少にもつながると思われ、当センターに及ぼす影響は少なくはないでしょう。また、わが国の経済情勢はいまだ低迷しており、当センターの受注件数も減少傾向が続いています。加えて国や地方公共団体からの補助金の減額など、当センターを取り巻く環境は厳しい状況にあります。

しかし、これからの労働人口の減少がさらに加速していく時代に、高齢者も「支える高齢者」・「支えられる高齢者」ではなく、可能な限り「主体的役割を果たす高齢者」へと変化していくことが求められており、シルバー人材センターが果たす役割もますます大きくなっています。地域の高齢者が就業を通じ、生きがいと社会参加の喜びを見い出すことは、活力ある地域社会づくりに寄与することでしょう。当センターは、今年も会員の皆様とともに「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、役員・事務局一丸となり、皆様から愛されるセンターを目指し、地域社会に貢献してまいりたいと存じます。

最後になりましたが、会員の皆様とご家族の皆様方のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。



5名の専任担当理事の日頃の活動について伺いました。3回に分けてご紹介いたします。

齋藤 茂材 専任担当理事 (公共担当)

1. 今抱えている課題を教えてください。今後どのように取り組みますか。

25年度に城南区駐輪場の指定管理者の申請を行います。激しい競争になることが予想されますが、会員の就業先確保のため、公募による企画提案の競争に参加することにしています。そのためにプロジェクトを立ち上げ、企画提案する内容の検討を行う予定です。

2. 福岡市の福祉施策に対して、センターとして貢献していることはありますか。

福岡市の配食サービスを受託しています。お弁当を配達するだけではなく、安否の確認に重要な役割を担っています。利用されている方へのアンケートによると、配達する就業会員の対応が大変喜ばれており、98%の方が継続的利用を希望されています。この結果を福岡市に提出し、事業の継続受注をアピールしています。

3. 公共事業の受注を増やすために、会員が協力できることはありますか。

現在福岡市からの受注は、全体の約46%を占めています。最近福岡市に限らずどこも経費節減に取り組んでいるため、センターとしても受注を減らさないことが重要になっています。今の仕事を継続して受注するために、いい仕事をして福岡市から信頼を得ることができるよう、就業していただきたいと思っております。

4. 会員にしてほしいことは？(協力してほしいことは？)

お客様の信頼を得るために、仕事をする上で決められたルールを守ることは基本で、とても大切なことです。これがミス・事故等の防止につながります。

特に、公共関係の仕事ではさまざまな方と接する機会が多いことから、お客様への対応においてトラブルを防止し、苦情をなくすことが何より大切です。このようなことに気をつけて就業していただくようお願いしているところです。

博多区

はかたく

就業先情報



吉塚カトリック保育園



今回の就業先訪問は、博多区吉塚5丁目の『社会福祉法人三位一体会・吉塚カトリック保育園』を訪問し、城戸利男園長にお話を伺いました。

城戸園長は温厚で優しいお人柄で、保育園の状況について次のように説明されました。

「当園は昭和29年3月に創立しました。昭和52年6月に社会福祉法人三位一体会・吉塚カトリック保育園として認可を受け、今日に至っています。現在、職員30名が勤務しています。

保育方針は、キリストの愛の精神に基づき祈る心と感謝する心を大切に、周りの人へ

のやさしさと思いやりを育み、人間としての正しい生き方の基礎を培うことを方針としています。

保育時間は午前7時から午後6時迄ですが、当園の保育士は児童に深い愛情と細心の注意を払いながら頑張っています。保育士は大変忙しいので、シルバー人材センターから2名が交替で、園内外の整理・整頓や清掃を担当していただいています。お二人は丁寧にテキパキと仕事をされていますので、大変助かっており感謝しています」

城戸園長からいろいろな説明をお聞きすると、保育園の運営にも愛情を持って長年尽力されていることを強く感じながら保育園を辞しました。

広報委員 松井 洋治

7 区通信

東

区

ひがしく

駐輪場全体会議

11月27日（火）と12月6日（木）の2回に分けて東区民センターで駐輪場就業会員（参加会員は135名）の全体会議を開催しました。

石崎委員長の挨拶、斉藤理事から事業計画と最近の動向、松尾理事から事故と安全就業について説明報告があり、東区役所の江藤係長から市の駐輪場取り組みと課題、お客様からのご意見と感謝文等について説明がありました。

続いて接遇研修および駐輪場の修繕などについて説明がありました。その他就業会員からの質問について回答と説明がありました。

交通安全県民運動



12月11日（火）10時30分からイオン香椎浜において東警察署、東福岡交通安全協会、東区役所等の主催による年末交通安全県民運動キャンペーンの決起集会があり、東出張所からも駐輪場就業会員他有志十数名が参加しました。

一日警察署長の武藤アナウンサーをはじめ参加者は、買い物客に蛍光反射ベルトやチラシ等を配り、交通安全の普及啓発を行いました。

またTV取材や白バイの展示などがあり、親子連れの市民も多数集まって好評のキャンペーンとなりました。

役員会開催



12月20日（木）13時30分から出張所会議室において役員会が開催されました。

地域班長29名、職群班長7名と出張所から4名の出席で開会しました。

石崎委員長から東出張所の活動報告と来年度からの手取除草の配分金単価の変更等の説明がありました。広田副委員長から事故発生状況および新春講演会について説明がありました。互助会の小杉業務委員から活動報告および10月の互助会活動アンケートについて結果報告がありました。

新春講演会を開催

1月17日（木）13時30分から出張所会議室

において「70歳現役応援センターの取り組みと現状」と題して、福岡県70歳現役



応援センターの大里課長から講演を頂きました。

70歳現役社会が必要とされる背景、70歳現役社会づくりの取り組み及び福岡県70歳現役応援センターの概要などの紹介がありました。

70歳現役応援センターへの登録者はすでに1,000名を超え、20名以上が仕事をされているそうです。集まった40名の参加者は熱心に聞き入っていました。

広報委員 安武 和芳

「女性会員のつどい」の開催



11月23日（金）10時から長生園講堂で、「女性会員のつどい」が開催され、71名の会員が参加されました。

倉岡委員長の挨拶に続いて樋口理事から、福祉家事援助サービス事業について「先ず女性会員を増やしたいと思っています。これは、就業されている女性会員を大事にすることにつながります。女性会員の仕事を増やすための試行錯誤と就業開拓をしているところです。皆さんのご協力をお願いします」旨の話がありました。

この後、意見交換や質疑があり、お楽しみの演芸に移りました。先ず、「ひょっとこ踊り」（ゲストの田中会員他15名）やカラオケがあり、最後に全員で「炭坑節」を踊るなど楽しい時間を過ごして12時前に閉会しました。

今年度から女性会員のつどいは、午前中で終了することになりました。

役員会の開催

12月20日（木）14時から第5回役員会が開催されました。

開会で倉岡委員長は、「博多出張所は今のところ特別な問題もなく推移していますが、就業先の会社の市外移転など、就業先の減少もありました。来年は少しでも景気が回復して、センターの仕事が増えることを期待しています」。

次に、前田副委員長から区運営検討委員会の報告及び4月から11月までの事業経過と民間の就業開拓を、広く積極的に進めていきたい旨の説明がありました。



板付北1・2地域懇談会の開催

1月11日（金）10時から弥生公民館で、21名の出席で開催されました。懇談会は馬越地域班長（板付北1）・三好地域班長（板付北2）の挨拶と参加者の自己紹介に始まり、下記のとおり倉岡委員長の挨拶がありました。

今年最初の地域懇談会となりました。よろしくお願ひします。今年度の大きな方針は、昨年の6月に掲げたとおりです。

①情報公開と共有化は、会員の皆さんとコミュニケーションを取りながら、いろいろな情報を知っていただく事が大事です。

②就業開拓は、民間の仕事を増やすことですが、もっと一般家庭を対象とした仕事を増やしたいと考えています。家事援助や庭木の剪定・除草などありますので、会員の皆さんからPRをよろしくお願ひします。

③会員の健康については、先ず健康診断を受けて頂きたいです。自分で健康管理をおこなって、何時でも就業出来るよう体調を整えて頂きたいと思っています。

続いて前田副委員長から板付北1・2地域の就業状況について「博多区会員1,000名のうち約600名が就業され就業率約60%ですが、当地域の会員71名のうち44名が就業され就業率



約 62%になります。この数字は博多区の平均を上回っており、会員がお元気で頑張っておられる事だと思います」と報告がありました。

次の質疑・要望等では、事務所で聞いた就業内容と現場での内容が違っていることがあるとの意見に、そのようなときは発注者と確認するので、事務所の担当者にその都度連絡していただきたいと回答がありました。その他に種々質疑がありましたが、ご理解を頂き地域懇談会を終了しました。

広報委員 松井 洋治

中央

区

ちゅうおうく

地域懇談会開催



11月8日(木)小笹Ⅱ・警固Ⅱ・大名・春吉・舞鶴・南当仁Ⅱ地区54名、12月5日(水)平尾・薬院・草ヶ江・高宮・笹丘・当仁Ⅰ地区47名が参加し、それぞれ10時からふくふくプラザで開催されました。

1. 岩男委員長挨拶の後、各地域班長の紹介があり委員長から中央出張所の現況及び配分金について報告と説明がありました。その主旨は次の通りです。「配分金は毎年減少傾向にあり、従来の請負だけでなく、派遣事業にも取り組まざるを得ない状況になっています。中央出張所では現在実績はないが、今後の就業開拓において派遣事業を重点課題として積極的に取り組んでいきたいです。」

また、適正就業と会員の就業率について配布された資料により詳しく説明されました。

2. 首藤安全担当から安全就業と事故発生状況について資料により説明がありました。

3. 大櫛就業開拓員から就業活動中の体験談が発表されました。しっかりした仕事がお客から評価され、これが就業拡大につながるとアピールされました。

最後に全員の自己紹介の後、意見交換と質疑応答が行われ、本年度最後の地域懇談会が予定通り終了しました。

影を慕いて♪大川への旅



11月13日(火)と14日(水)の両日、二班に分かれて82名がバスツアーに参加し、大川の名所・旧跡を散策しました。

家具の街、大川が誇る名所のひとつ、旧吉原家住宅は吉原家24代当主、吉原正左衛門が明治21年(1888年)土蔵を建築、同35年(1902年)増築されたもので、建物の細部技法は大川木工の優れた伝統を取り入れ大川指定文化財になっています。(株)庄分酢工場見学の後、料亭三川屋で昼食しながらカラオケに手拍子でなごやかに交流を深めました。古賀政男記念館では古賀メロディに昔を重ね合わせ、参加者の心に潤いを与えてくれました。その後、関屋蒲鉾工場見学や道の駅「みやま」で買い物をし、夕方無事に帰宅しました。幹事さんは天候の悪い中ありがとうございました。

福祉・家事援助サービス班 全体会議開催

12月14日(金)13時30分から、会議室で45名が出席し開催されました。

1. 岩男委員長の挨拶

自己紹介の後、中央出張所の現況と配分金について報告と説明があり、「配分金は年々減少傾向にある中、福祉・家事援助は増加しています。今後も地域に根ざした福祉・家事援助はますます重要となり最も期待される事業となると思います。今まで培って来たノウハウを後の人に伝えてほしいです。これからも会員の皆様が



適正就業のもと、健康に留意して就業されることを切望しております」。

2. 樋口理事の挨拶

「福祉・家事援助は時代の要請によってますます重要な仕事になっています。このようなことを踏まえ、本部では子育て支援や掃除等の研修会を開催し、人材育成に努めています。ぜひ受講されるようお願いします。また家事援助会員の拡大のため、周りにいらっしゃるお友達やご近所の方に入会を勧めてください」。

3. 首藤安全担当から安全就業の心得について資料配付の上説明があり、大櫛就業開拓員は、福祉・家事援助は社会の高齢化が進み、その必要性は高まっていますと強調されました。

4. 佐々木会員体験発表

「福祉・家事援助に就業しているなかで最近強く感じたことは、仕事を依頼される方に高齢者が多くなったことです。個人宅へ入っての仕事ですので様々な生活状態があり、孤立に対して心配しながら今後もこういった高齢化は進んでいくのではと感じました」。

役員会開催



12月21日（金）に役員会が開催され、岩男委員長から主な行事を振り返って報告がありました。当面の課題と今後の対策について次のような内容です。

「配分金は業種によって前年を上回っているところもあるが全体的には年々減少していま

す。来年度予算は厳しい状況にあり徹底した経費削減が求められています。今ある公共の仕事がなくならないよう厳しい姿勢で取り組んでいく必要があります。配分金が増加しているのは、特に福祉・家事援助、子育て支援です。今後は地域に根ざした就業開拓と派遣事業を重要課題として積極的に取り組んでいきます」。

その他、事故防止措置要領の改正および基幹事務担当が瓜生会員から谷原会員へ交替の報告がありました。今後は、2月22日役員会、3月13日会員のつどいと女性会員のつどいを予定しています。

最後に、荒木代表幹事より互助会の事業報告がありました。

広報委員 井手上 勉



区

みなみく

日帰り親睦旅行

～ 平戸市の名所旧跡を散策 ～

慣例の日帰り旅行は11月12日（月）14日（水）15日（木）の3日間、3班に分かれて行われました。参加者は昨年を上回る120名でした。

夜来の雨も当日は上がり絶好の旅行日和でした。ベテランのガイドさんのユーモア溢れる話術と道案内に、車内は笑いで盛り上がりました。バスは西九州自動車道を快走し、瞬く間に唐津、そして伊万里を通過しました。平戸港広場に到着すると、観光案内人の解説で平戸港付近の名所旧跡（藤浦洗の歌碑・国史跡の平戸オランダ商館跡・六角井戸・平戸ザビエル記念教会・寺院と教会の見える散歩道などを1時間余り散策しました。中でも印象に残ったのは、「オランダ商館跡」と「寺院と教会の見える風景」でした。前者は1609年に江戸幕府から貿易を許可された東インド会社が、平戸城主松浦孝信の同意を得て設置した東アジアにおける貿易の拠点です。わずか1641年までの33年間でしたが、その年に商館は長崎の出島に移されました。現在もオランダ堀・オランダ井戸・オランダ埠頭などが残っており、昔の面影を留めています。



寺院と教会の見える風景

後者は西洋文化と日本文化が共存している街であることを象徴しています。さらに周囲を取り囲む石畳と坂道は、古都平戸を彷彿させています。今なお、全国から老若男女問わず多くの観光客が訪れているそうです。

待望の昼食・入浴は平戸唯一の国際観光ホテル『旗松亭』です。昭和44年長崎国体の際に、昭和天皇皇后両陛下、その後今上天皇（現在の天皇）皇后両陛下が御宿泊されました。マスターに伺いますと、「昭和天皇はスポーツが好きで、中でも相撲に関心が高く、平戸市が相撲会場になったお陰だと思います。その時に新しく別館を建てました」。旗松亭の文字は江戸末期の陽明学者の佐藤一斎（1772～1859）が毛筆で書かれたものです。本館は江戸時代末期の旅籠屋として誕生したと推測されます。平戸の新鮮な素材を利用した一品料理の数々を堪能した後、大宴会場でカラオケ、グループによる合唱・合奏などに興じ、楽しいひとときを過ごしました。フリータイムは入浴や足湯、そして崎戸公園の展望台などを散策しました。瀬戸市場には平戸の水産物や農産物、お土産品が山積していました。参加者は前もって品物を決めていたので短時間で済みました。終点の大橋駅到着は18時30分過ぎでした。長旅にもめげず、疲れを知らない1班の会員だったと自負します。

最後に、3日間事故なく終了しました。来秋、またお会いしましょう。



家事援助班全体会議開催

平成24年11月20日（火）13時30分から南出張所会議室において、矢口委員長、江口・実藤両副委員長、吉田職員（本部）ほか、会員30名が参加して開催されました。委員長の挨拶後、山本珠子^{たまこ}家事援助班長の司会で家事援助サービス憲章の唱和（全員）がありました。憲章の題目は5点で①利用者の尊重②きめ細かいサービスの提供③プライバシーの保護④資質の向上⑤地域福祉の向上。就業上、心掛けておかねばならないものでした。

次に、吉田職員から「難しい受注の検証や数々の研修会の手配などに取り組んでいます。契約にない就業をしないように、前もって契約内容を確認しておくことが大事です。判断できない場合は独断で即答しないで家事担当者に相談してください。豊かな人生経験と知識を生かし頑張ってください」とお願いがありました。

さらに、江口安全担当より「家事援助班の作業と安全」と題して、①就業全般②途上事故③作業中の事故に分けて注意があり、事故がおきた場合の対応については具体的な事故を例示して説明がありました。最近家事援助班の事故がなく、大変喜んでますと述べられました。

体験談発表は山本班長で、家事援助班に加入された当時の様子を淡々と語られました。「高齢者の方の室内の清掃を通して、相手の気持ちを理解することの大切さを知り、全身全霊で仕事に励んでいます」。大変参考になる内容で、班員も感激しながら傾聴していました。

休憩をはさんで、全員で手話ダンスとズンドコ体操で体をほぐしました。今後の家事援助班をますます発展させるにはどうしたらいいかを自己紹介を兼ねて行いました。大変有意義な会でした。帰りはシルバーのパンフレットを配布



しながら家路に就かれました。

自ら流した涙や汗を糧にして、地域の人々の喜びを陽光にしようではありませんか。

広報委員 高濱 一郎

城南

区 じょうなんく

「女性会員のつどい」開催

平成24年度「女性会員のつどい」が12月11日（火）、会員30名が参加して城南市民センターで開かれました。永富委員長から城南区における女性会員の入会状況や就業状況等が報告されました。なお、11月末現在の女性会員は249名、女性会員の就業率は74.3%です。

子育て支援配分金（平成24年4～10月実績）（千円）

	平成24年	平成23年	差額	対前年比
4月	144	120	24	122%
5月	153	96	57	160%
6月	177	106	71	166%
7月	213	99	114	214%
8月	184	114	70	162%
9月	183	115	68	159%
10月	206	107	99	193%
計	1,260	757	503	166%

家事援助サービス配分金（平成24年4～10月実績）（千円）

	平成24年	平成23年	差額	対前年比
4月	594	604	-10	98%
5月	635	622	13	102%
6月	668	616	52	109%
7月	695	601	98	116%
8月	709	621	87	114%
9月	713	612	100	116%
10月	746	637	108	117%
計	4,760	4,313	448	110%

次いで、徳永安全担当による事故状況、樋口理事による今後の目標、木本会員による就業体験についてそれぞれ報告があり、全員参加の質



疑応答が行われ、散会しました。

また、中休みを挟んで、希望者に城南区地域保健福祉課による血圧測定が行われた後、同課の筑地公成さんの指導で中高年の健康によいとされている『黒田節体操』を踊り、心身をリフレッシュしました。

7名が自慢のノドや腕前を披露



城南区の出演者と応援のみなさん

正月の恒例行事の一つ、互助会主催の「芸能大会」が1月11日（金）、中央区荒戸の市民福祉プラザで開かれました。

今大会には66の個人とグループが参加。情感たっぷりに歌う人や軽妙な仕草で会場の笑いを誘う人などおいて、詰め掛けた人に感動としばしの安らぎを与えていました。

城南区からは、下記の7名の会員が参加し、自慢のノドや腕前を披露しました。（敬称略）

- ◎富永晴美→カラオケ「雪よされ」
- ◎鮎本忠義→カラオケ「その昔」
- ◎大森利男→ギター演奏「ラ・クンパルシータ」など3曲
- ◎加藤泰禮→カラオケ「娘よ」
- ◎泉田文男→津軽三味線の演奏
- ◎野田康章→舞踊「男幡隋院」
- ◎塩川待子→カラオケ「対馬海峡」

広報委員 藤 勇三

早良

区 さわらく

萩への親睦旅行

今年度の親睦旅行は11月14日（水）～16日（金）の3日間に、各日45人が参加して山口県の萩に行きました。



3日間とも天気に恵まれ、8時に出張所を出発して、九州自動車道・中国自動車道を走り、美祿東インターで下りて小郡萩道路を通過して萩の街に入りました。

先ず、萩城下の港町として栄えた浜崎エリアを見学しました。日本海に面することから、物資の流通や水産業などに携わる人々で賑わい、古くから萩の経済を支えてきました。現在でも軒を並べた街並みは健在で、平成13年には重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。この保存地区にある旧山村家・旧山中家を見て回り、毛利藩の軍船を格納していた御船倉の前で記念写真を撮りました。「萩焼会館」での昼食後、紅葉で有名な黄檗宗の寺院「東光寺」に立ち寄りましたが、残念ながら紅葉には少々早かったようです。帰途「道の駅・萩往還」で買物を楽しんで、夕方無事に出張所へ戻りました。会員の皆さんは秋の一日を楽しんだようです。

「交通安全教室」開催



昨年11月22日(木)の午後に、早良市民センターで本部から松尾・齊藤両理事をお迎えし会員97名が参加して加藤安全担当の司会進行で『平成24年度交通安全教室』が開催されました。

先ず、五島委員長から事業推進状況の説明に続いて、今後の仕事を拡大するためには派遣事

業に取り組む必要があると説明がありました。

次に、安全担当の松尾理事からは「シルバーにおける自転車事故について」の話がありました。

続いて、加藤安全担当からは事故状況についての報告がありました。

休憩を挟んで早良警察署交通課の宗係長から、『高齢者の交通事故防止』について講演がありました。高齢者になると、視力・筋力等の身体機能が衰えます。その結果、65歳以上の死亡交通事故は54.1%と半数以上で、この内の70%以上が70歳以上の事故です。

高齢者が交通事故に遭わないためには、次の「げんきでながいき」が大切です。

「げ」…玄関出たら安全確認

立ち止まって道路状況を確認することが大切です。

「ん」…‘ん’と迷ったら横断中止

迷った時は赤信号です。

「き」…きちんと渡ろう横断歩道

遠回りでも横断歩道を渡ることです。

「で」…電動車椅子は歩行者の仲間

これは車両ではありません。

「な」…何回でも渡り終わるまで右左

特に左から来る自動車に注意する。

「が」…我慢一分怪我一生

気持ちに余裕を持って信号を待つ。

「い」…一時停止は確実に停止

自転車の運転時一時停止標識では、速度を落として確実に止まる。

「き」…キラッと光る反射材

夜の歩行は明るい服装で。出来れば反射材を身に着ける。

参加者は、宗係長の分かり易い話に引き込まれて聞いていました。

看護学校学生来訪

昨年11月27日(火)と12月6日(木)の2日に分かれて、福岡市シーサイドももちにある国立病院機構・九州医療センター附属福岡看護助産学校の2年生49名が実習の一環として当出張所を訪れました。訪問目的は、シルバーの人達がどのような活動をしているか学習するためとのことです。



まず、五島委員長が1時間に渡ってシルバー人材センターの活動について説明をしました。その後、丸山公共担当の案内で早良区役所駐車場→区役所内にある「資源物回収ボックス」→藤崎駐輪場と回ってシルバーの活動状況を案内しました。学生たちは、シルバーの生き生きしている活動を見て感心していました。

地域班長会開催



昨年12月18日(火)の午後に、出張所会議室で五島委員長・斉藤理事をはじめ地域班長28名が出席して隠岐副委員長の司会進行で、開催されました。

まず、五島委員長からは次のような話がありました。

1 事業推進状況(4~11月)

配分金は対前年比96%で市全体の94%を2%上回っています。剪定・除草と筆耕は好調に推移しています。就業率は月平均で56.5%(男性55.1%・女性59.6%)で市全体の53.7%(男性52.6%・女性55.9%)を上回っています。会員数は11月末現在で1,104人となり、市全体では7,171人です。

2 交通事故状況(4~11月)

市全体で39件(前年比▲3件)となっており、出張所では4件(▲3件)で昨年より減少しています。

3 連絡事項

- ① 地域懇談会は、9~11月に19校区・11箇所で開催し、230名が参加して参加率は34.7%でした。
- ② 親睦旅行は11月14日~16日の3日間で開催しました。
- ③ 1月11日(金)午後に「家事援助全体会議」を早良市民センターで開催します。

次に、斉藤理事からは公共関係の話がありました。最後に、質疑応答があり散会しました。

広報委員 高橋 勉



区

にしく

駐輪場リーダー・サブリーダー会議開催



12月21日(金)駐輪場リーダー・サブリーダー会議が開催されました。市木班長により会議は進められ、城委員長より挨拶かたがた今年度の業績(4~11月)について説明がありました。

出張所の配分金ベースで見ると、対前年比約90%ですが、駐輪場管理は前年比100%で、全体を占める割合は約29%となり大きなウエイトを占めております。直接市民の皆さんと接する駐輪場管理業務は、心遣い、気遣いも多いと思われませんが、シルバー人材センターをリードしていることに誇りを持ち、一層の活躍を期待しますという趣旨の話がありました。

続いて市木班長より、作成された資料に基づき会が進められました。ポイントとして、

- ① 先の会計検査についての報告で、西出張所は取り立てて問題はなかった
- ② 今度の年末年始は業務をすることになった

が、初めての事なので予測される問題点を事前チェックの必要がある（例えば券売機が故障したときの対応…）

- ③今年 は 5 ～ 10 月 まで 姪 浜 だけ 毎 月 新 人 対 象 に 「 駐 輪 場 管 理 業 務 の 心 得 等 」 に つ い て 座 学 を し た が 、 効 果 は 大 き か っ た と 思 う
- ④ 駐 輪 場 就 業 会 員 が 抱 え る 問 題 を 近 隣 の 出 張 所 と 合 同 の 会 議 を 持 っ た ら ど う だ ろ う か
 その他、クレーム発生に対する処置について報告があり、「会員同士を始めお客様に自分から挨拶の声を出す事」ということで閉会となりました。

サンタクロースがやってきた！



年末になると幼稚園や保育園から「餅つき」などの依頼があります。

今年 は 幼 稚 園 か ら 「 サ ン タ ク ロ ー ス を し て く だ さ い 」 と い う 依 頼 が 来 ま し た 。 い ず み 幼 稚 園 「 ひ よ こ 組 」 (3 歳 児 中 心) で は 、 子 育 て 、 幼 児 教 育 に 熱 心 な お 母 さ ん 方 27 名 が 、 度 々 顔 を 合 わ せ て い る 中 で 、 「 X'mas 会 を し ま し ょ う 」 と い う こ と に な り ま し た 。 な ら ば 「 子 ど も た ち が 喜 ぶ 、 夢 の あ る 会 に し ま し ょ う 」 と な っ た よ う で 、 X'mas と い え ば 「 サ ン タ ク ロ ー ス が プ レ ゼ ン ト を 」 と な り 、 “ サ ン タ ク ロ ー ス 役 を ” と 当 セ ン タ ー に 声 が か か り ま し た 。

サンタクロース役は加藤会員です。会では初めに「サンタクロースが、ある家にやってくる」という内容の紙芝居があり、こども達は楽しそうに見入っていました。紙芝居が終わったところで、こども達は「サンタクロースさ～ん」と大声で呼びました。すると隣の部屋の扉から、サンタクロースが大きな袋を背負って笑顔をふりまきながら「みんな元気かな」と言って入ってきました。こども達の輝く目はサンタクロ

ースに集中です。サンタクロースは子どもたち一人ひとりの名前を呼んで、プレゼントを渡し握手をします。プレゼントを渡し終わったら、代わる代わるサンタクロースとの写真撮影。無事に終わった加藤会員は、控えの間で「暑かった！」の一言。

2、30年後の日本を担うこども達を見ながら、暗い情報が多い昨今、とてもさわやかな光景を目にした思いです。

能古島で頑張る会員(二題)

暑い日、寒い日、小雨が降る日、それでも会員は今日も「能古島渡船棧橋」に向かいます。能古島では、剪定や除草などは別にして、年間契約のお客様のところに、契約内容に基づいて会員は島へ渡ります。

〔能古島保育園〕

平成22年11月より屋内、屋外の清掃でご用命いただいております。現在の就業は宮野会員です。訪問した日は年末に近いこともあって、日頃なおざりになっている箇所の清掃に精を出していました。部屋の中では子どもたちの賑やかな声。園長先生の感謝の声と、宮野会員の「やりがい」の声を聞き、さわやかな気持ちで能古島をあとにしました。



〔長浜食品保養所〕

かなり以前から保養所の屋内、屋外の清掃のご用命を頂いております。今年の5月から平野会員が週に一回就業しています。保養所は、夏になると海水浴などで賑わうようですが、寒い時期は利用者が少ないようです。



訪問した日は小雨模様だったので、屋内掃除に精を出していました。

広報委員 岡崎 幸雄

労働者派遣事業について

1 労働者派遣事業について

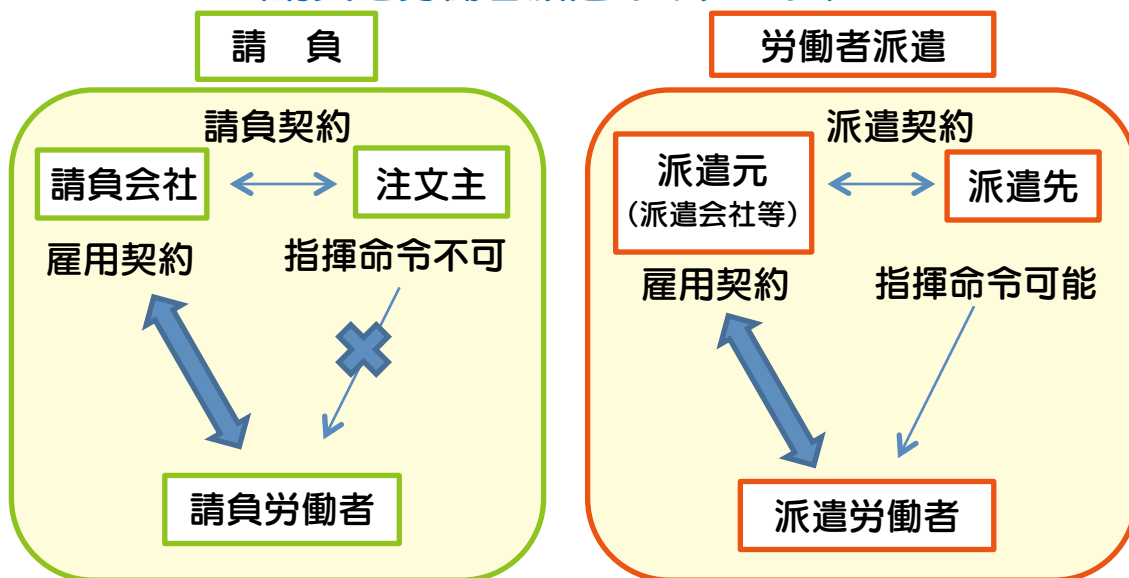
(1) 定義

労働者派遣事業とは、雇用契約の下で、他人の指揮命令を受けて労働に従事することをいいます。別の呼び方で人材派遣業と言うこともあります。

労働者派遣事業では、人材を派遣する側を派遣元、人材を派遣される側を派遣先、派遣就業する労働者を派遣労働者と呼びます。派遣元は、派遣先と労働者派遣契約を締結し、派遣先の契約内容にふさわしい派遣労働者を提供します。

派遣元から派遣先に派遣された派遣労働者は、派遣先の会社や事務所、作業場所等で派遣先から指揮命令を受けて仕事をします。

(請負と労働者派遣のイメージ)



※請負では指揮命令は不可能です。

(2) 派遣禁止業務

以下の業務については、労働者派遣は禁止されています。

(派遣禁止業務)

- ① 建設業務
- ② 港湾運送業務
- ③ 警備業務
- ④ 病院等における医療関係業務 (一部除くなど)

(3) 派遣受入期間の制限

業務によって、派遣先が同一の業務に派遣を受け入れる期間に制限があります。

分類	業務内容 (例)	派遣受け入れ期間の制限
政令で定める業務	秘書・財務処理・アナウンサーなど	なし
自由化業務 (上記以外)	製造作業、軽作業、一般事務など	原則1年間 (最高3年まで延長できる。)

→自由化業務の派遣受入期間は、派遣元 (会社) や派遣労働者が変わっても通算されます。派遣受入期間の抵触日 (派遣受入期間の翌日) については、派遣先が派遣元に通知しなければなりません。

2 シルバー人材センター労働者派遣事業について

(1) 仕組み

シルバー労働者派遣事業の場合、派遣元として厚生労働大臣へ届出をしている各県シルバー人材センター連合（以下「県シ連」）と、各市町村のシルバー人材センターの2つです。

県シ連は派遣元事業主となり、一方、各市町村のセンターは実施事務所として、両者で連携をとりながら会員の登録や派遣先との折衝等の業務を行います。

(2) 特徴

① シルバーの就業形態であること

シルバー労働者派遣事業の場合、いわゆる労働者派遣法に沿った運営をすることに加えて、シルバー人材センターの就業形態である、「臨時かつ短期的就業又はその他の軽易な業務に係る就業」の範囲内で就業する必要があります。

○ポイント○

「臨時かつ短期的就業又はその他の軽易な業務に係る就業」

→就業日数、就業時間については労働者派遣事業であっても、月10日以内、あるいは週20時間以内に限定される。

② 派遣労働者がシルバー会員であること

シルバー人材センターに会員登録している会員の中から派遣労働を希望している会員を県シ連が雇用し、派遣労働者として働くこととなります。

3 シルバー労働者派遣事業の現状

(1) 偽装請負について

請負契約の場合、発注者は指揮命令を行うことができませんが、実際の就業において発注者の社員などから指揮命令が行われる場合、「偽装請負」となり、職業安定法や労働者派遣法違反となります。

「偽装請負」防止のため、事前に作業内容を正確に把握し、その作業内容により「請負」で受けるべきか、「労働者派遣」で受けるべきかを適切に選択していくことが欠かせません。

(2) 派遣事業の認知度について

シルバー人材センターの仕事は、剪定、除草、家事援助、駐輪場作業等のイメージが強いため、派遣契約を実施できることは、まだお客様にはあまり知られていないのが現状です。作業内容や指揮命令の有無により「請負」、「派遣」いずれも対応が可能であることや、シルバー人材センターの派遣業務についてさらに周知していくことで、より多くのお客様から利用していただけることが期待できます。

4 実績（平成24年度4月から12月まで）

センター名	派遣労働登録 会員数（人）		受注件数（件）		契約金額（円）		就業実人員（人）	就業延人員（人日）
	男性	女性	公共	民間	公共	民間		
福岡市	47	15	1	7	6,874,120	10,286,299	58	4,134

手取除草（民間）配分金変更のお知らせ

平成 25 年 4 月より、**手取除草（民間）の配分金を変更いたします。**
変更後の配分金については、下記一覧表のとおりになります。

手取除草（民間）配分金一覧表

作業時間区分	変更前 平成 24 年度まで	変更後 平成 25 年度から
2 時間までの作業（定額料金）	1,800 円	1,900 円
2 時間以上の作業（1 時間あたり）	750 円	800 円

※上記の金額は、作業内容が手取除草の場合のみ適用となります。
※ご不明な点等ございましたら、各出張所までお問い合わせください。

剪定・刈払除草作業の 就業希望者募集

剪定・刈払除草作業の会員不足のため、
就業希望者を募集します。



あなたも一緒にやってみませんか！

- 庭いじりや樹木・草花が好きな方
- 体力に自信のある方
- 草刈作業の経験がある方 など

剪定・刈払除草作業は、家事援助サービスと並び一般家庭からのご依頼の多い作業で、特に夏場は注文が多く、申込みの対応できずお断りしている状況です。また、刈払講習会を開催していますので、是非ご参加ください。（下記参照）

刈払除草の講習会(座学)を3月に開催します

日 時：平成25年3月14日(木) 13:30～15:30

場 所：本部 1 階 博多会議室(博多区千代1-21-16)

◎参加希望者は平成25年3月7日(木)までに
各出張所担当者にお申込みください。

平成24年度会議開催状況(12月～1月)

●理事会

回	開催月日	議案
10	12月26日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センター正会員の入会について ・公益社団法人福岡市シルバー人材センター特定資産取扱規程の一部改正について ・手取り除草配分金単価の改定について
11	1月23日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センター正会員の入会について ・公益社団法人福岡市シルバー人材センター役員推薦要綱の一部改正について

●総務部会(委員長理事の会議)

回	開催月日	議案
9	12月19日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・未収金対策について ・手取り除草配分金単価の改定について ・会員の入退会時の制約条件について
10	1月16日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・未収金対策について ・平成25年度事業計画(案)について ・平成25年度収支予算(案)について ・シルバー人材センターの就業日数等について ・ボランティア活動の拡充について ・ワンコイン事業検討委員会における検討事項について

●業務部会(専任担当理事の会議)

回	開催月日	議案
9	12月21日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・業務部会の取り組み状況について ・手取り除草配分金単価の改定について ・資格更新奨励制度の創設(案)について
10	1月18日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・業務部会の取り組み状況について ・平成25年度事業計画(案)について ・平成25年度収支予算(案)について ・シルバー人材センターの就業日数等について ・ワンコイン事業検討委員会における検討事項について

●合同部会(総務部会と業務部会の合同会議)

回	開催月日	議案
8	12月26日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度第9回「総務部会」及び第9回「業務部会」の報告 ・平成24年度11月「事業実績」について
9	1月23日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度第10回「総務部会」及び第10回「業務部会」の報告 ・平成24年度12月「事業実績」について ・シルバー人材センターの就業日数等について

●安全・適正就業対策委員会

回	開催月日	議案
8	12月26日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・事故状況について ・安全就業会員表彰制度について
9	1月23日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・事故状況について ・審議事項 ・安全就業会員表彰制度について

平成24年度 実績報告

平成24年12月末現在 ●会員数 7,162名 ●就業者数 4,941名
 男性 4,731名 ●就業率 69.0%
 女性 2,431名 ●事業収入 15億4,602万円

平成24年度 事故発生状況

平成24年12月末現在 ●傷害事故 19件 (前年同期 18件 前年比 +1件)
 ●賠償事故 15件 (前年同期 16件 前年比 -1件)
 ●自動車事故 10件 (前年同期 13件 前年比 -3件)
 ●累計 44件 (前年同期 47件 前年比 -3件)

■傷害事故 (11月1日～12月31日)

日付	就業中 途上	性別	年齢	仕事 内容	事故の状況	部位	症状	傷害の程度		
								入院	通院	手術
12/28	就業中	男	69	屋内 清掃	トイレ清掃中、床の濡れた部分を拭き、体を起こした際、壁に取付けられたペーパータオルホルダーに頭をぶつける。	頭部	挫創		○	

■損害賠償事故 (11月1日～12月31日)

日付	性別	年齢	仕事内容	事故の状況
12/5	男	70	駐輪場	駐輪場利用者サービスのため「ハンドル形電動車いす」の移動を手伝った際に、駐車中のバイクに接触し、バイクのブレーキレバーを破損した。
12/11	男	75	刈払 除草	芝刈機で作業中、飛石が発生し駐車中の車両のリアウィンドウを破損した。

■自動車事故 (11月1日～12月31日)

日付	性別	年齢	仕事内容	事故の状況
11/4	女	67	配食	配食中、車両の進路を変更する際、下地が砂利でスリップしあわてた為に、アクセルとブレーキを踏み間違えブロック塀に衝突した。
12/20	男	67	剪定	狭い道を左折する際、右側下部を花壇ブロックにぶつける。

シリーズ

わが町の歴史散歩

30 東区編

志賀島

志賀島といえば、万葉集歌碑・蒙古軍供養塔（蒙古塚）・金印・志賀海神社など、島全体が歴史散歩には最適な処と思われます。

蒙古軍供養塔

文永11年（1274年）、弘安4年（1281年）の二度にわたる元寇襲来の古戦場で、攻めた元（蒙古軍）の戦死した兵士達の供養のため、昭和初期に供養塔が建てられたものです。



志賀地区の山中には^{かえんづか}火焰塚があります。

金印（金印公園）



天明4年（1784年）志賀島の畑で百姓の甚兵衛が見つけたもので、「漢／委奴／國王」の5文字が彫られています。福岡藩の学者「亀井南冥」が金印の由来を調べ、福岡平野にあった奴国の王が、漢の光武帝から贈られた金印であると考証し、平成の科学分析においても中国産の金成分であることがわかりました。（亀井南冥については前号に紹介しています。）

金印は福岡市博物館に国宝として常設展示されています。なぜ志賀島で見つかったのかは今も謎に包まれています。

志賀海神社



勝馬・沖津宮

海人族（阿曇族）の祖神社として勝馬から現在の地に遷座

したといわれています。

水田稲作の技術は、阿曇族が中国大陸から伝えたともいわれています。中国大陸と日本海そして太平洋沿岸を海運技術で活躍し、全国30カ所に「しか」「あづみ」の地名がみられます。なかでも長野県安曇野市穂高が有名です。福岡の食べ物「おきゅうと」が、安曇野市で「えご」の名前で食されています。志賀島と安曇野市は定期的に交流を行っており、2012年5月の「はかたどんたく」に安曇野市から市長他多数の参加がありました。

また10月の金印まつりに、金印シンポジウム「志賀島の金印と海人族」が福岡市役所で開催され、安曇野市、米子市、宗像市、五島小値賀町、志賀島から「しか」及び「阿（安）曇」に関わる話が紹介されました。



金印・邪馬台国・卑弥呼・阿曇族と歴史散歩に思いめぐらすのも夢があつていいのではないのでしょうか。

広報委員 安武 和芳

互助会だより



新春「芸能大会」報告



～多彩な演目で観客を魅了～

1月11日(金)、福岡市市民福祉プラザにおいて互助会主催の「芸能大会」が開催されました。各出張所会員の皆様方の協力で日頃の練習の成果を発表する場となりました。出演者は日頃カラオケボックスで歌うのとは違い、大舞台上で歌い、踊るのはこんなに気持ちのよいものとは思いませんでしたと感想を述べられ、また観客からは惜しめない拍手が送られていました。会員の皆様の元気な姿を見て、感動した一日となりました。

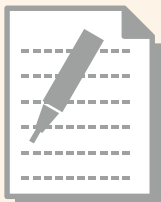
西区互助会業務委員 米川 健誠



新春芸能大会参加へのお礼

平成24年度の芸能大会は1月11日(金)ふくふくプラザで開催されました。金曜日開催で集まりを心配しましたが、例年に増して多くの観客が来場され、用意していたプログラムが不足するほどでした。出演者の演じ物も拍手喝采の中で楽しく和やかに過ごせた一日でした。来年度も出演者、ゲスト、観客、スタッフの皆様有難うございました。来年度もよろしくお願ひ申し上げます。

互助会会長 石崎 哲夫



アンケートにご協力お願いします

25年度は互助会が独立して3年目に入ります。参加者の多い行事を中心に計画しています。互助会行事について、会員の皆様のご意見をお聞かせいただきたいので、**同封のアンケート**にご協力の程よろしくお願い申し上げます。

互助会だより

第2回
互助会主催

料理講習会報告



第2回料理講習会を11月22日(木)に開催しました。

第1回より参加者も増え30名、その中に男性6名の参加もあり、調理台もフル活用しての講習会となりました。

前は肉料理でしたが、今回は魚料理で、5品目のメニューの中に郷土料理の筑前煮を加えてみました。男女和やかな雰囲気の中で、親睦を図ることができました。

25年度も引き続き開催を予定しています。

健康の源は食生活からです。皆様の参加をお待ちしています。

互助会代表幹事 荒木博子



メニュー

- サンマの山椒煮
- もやしとハウレン草の辛子醤油和え
- 筑前煮
- 豆腐団子の揚げもの
- ももの豆花



レシピ

豆腐団子の揚げもの (4人分)

材料

豆腐……………(木綿)2丁
きくらげ…2~3枚
人参……………3センチ
あさつき…3~4本
卵……………1/2
片栗粉……………適宜

作り方

- ① 豆腐は30分~1時間程度、水切りをする。
- ② きくらげは水で戻しみじん切り、人参もみじん切り、あさつきは、小口切りにする。
- ③ ①の中に②を加え、溶き卵、塩小さじ1/2、片栗粉大さじ1を加えて良く混ぜ、大さじ1強の大きさに丸める。
- ④ 揚げ油を中温に熱し、③を静かに落としカラッと揚げる。

※たれの作り方

- ① 水…600cc
 - ② 薄口醤油…100cc
 - ③ 砂糖…80g
- ①、②、③を煮たたせ、水とき片栗粉でとろみをつける。



ももの豆花 (4人分)

材料

豆乳、牛乳…各200cc
粉寒天 ……2g
ゼラチン ……4g
砂糖 ……50g
黄桃缶 ……1個
ミント ……適宜

作り方

- ① 豆乳、牛乳を鍋に入れ、粉寒天を加えて中火にかけ煮溶かす。
- ② ひと煮立ちしたら火を止め、砂糖とゼラチンを加えよく混ぜ合わせる。
- ③ 砂糖が溶けたらあら熱をとり、ボウルに流し冷やし固める。
- ④ 黄桃缶を汁ごとミキサーにかけソースを作る。
- ⑤ ③を器に盛り、④のソースをかけてミントを添える。

会員のひろば



ダンスは楽し♪

南区大橋にあるダンス教室「オギノケンタロウ・カテリーナ教室」に通い始めて8年目になります。

我が国は長寿国と言われますが、心身共に健康で長寿者が多い国が本当の「長寿国」と胸を張ることが出来るのではないのでしょうか。その為にも、先ずは自分自身が健康で、日々を楽しく送りたいと思います。

平成21年8月に会員となり、現在愛宕神社の茶店で就業していますが、そこでも多くの方との出会いがあり、充実の人生だと自負しています。

これからも輝の人生でありたいと願っております。

西出張所 下田 悦子



平成24年度 博多区運動者講習大会 2012.7.8

40歳代に、合気道創始者の植芝盛平の伝記的小説「黄金の天馬」(津本陽 著)に出会い、武道の本質が「自分の力」でなく、「相手の力」を利用しての集中力、体さばき、瞬息の動きであり、老人も子どもも稽古がいつまでも出来るということに魅了されました。合気道への想いを忘れがたく、2008年に『祥平塾』に再入門。創始者、盛平翁の直弟子の菅沼師範(八段)の御指導によろしきを得て、平成23年に二段を許されました。今後は、若い人達と一緒に合気道に精進したいと願っております。

博多出張所 大嶋 隆次

「会員のひろば」で作品を紹介しませんか。

「会員のひろば」では会員の皆様からの投稿をお待ちしています。写真・短歌・俳句・絵画などジャンルは問いません。ふるってご応募ください。なお、応募作品が「会員のひろば」に掲載されると、薄謝を進呈いたします。

俳句

神の留守 蔵に棲みつく 麴菌
 盛鉢に サラダ菜美しく 雪催
 清め砂 つけて戻りぬ 神送り

南出張所 高濱 章子

短歌

この夜風孫には少し寒からむ
 しかと抱きて歩みゆくなり
 新しき小桶すがしく匂いたつ
 銭湯に子の体を洗う

口実を見つけては孫に会いにゆく
 敬老の日の幕の内さげて
 電柱に貼られし違反ビラはがす
 雨の日ならば雨をよるこび
 安らなる余生と言うに程遠き
 妻の躰を暁にきく

博多出張所 川上 憲吾



俳句 中央区俳句の会「鴻臚」

秋に紅葉を求めて、西公園を吟行しました。
 そのときの近詠句をご紹介します。

さらさらと木の葉時雨やもみぢ谷	中村 幸女
小春風光る海へと進む船	榊 よし子
考 ^ち 思 ^ち い出すや夕陽の烏瓜	重松 雅女
御殿場に銀の波打つ雄花かな	石田 妙女
悲喜交々残る紅葉に散る紅葉	梶原 静枝
松の木に花と見紛ふ蔦もみぢ	木村 順子
冬紅葉いろはにほへとそれぞれに	田中すみれ
一山を燃え尽くさんと冬もみぢ	桐井 玉子
晴天をはね返す色冬もみぢ	山根 里子
虚ろなる幹で支ふる冬木かな	一木キヨ子
風もなくただはらはらと散る黄葉	平山 靖子
空の蒼海の青さに散る紅葉	大津 英世
それぞれの色を宿して柿落葉	佐野 貞昭
冬ざるる波折り頻 ^し くぞ妻恋碑	小林 奇遊
哀れなる枯蟪蛄の末路かな	木寺 夢幻

事務局からのお知らせ

退会をお考えの方へ

退会をするためには、「退会届」の提出が必要になります。

退会をご希望の方は、**必ず平成25年3月31日までに所属の出張所で退会の手続き**を終えてください。平成25年4月1日時点で会員資格をお持ちの方は、平成25年度会費納入の対象となり、会費の口座振替が行われますので、ご注意ください。

各出張所のお問い合わせ先	南出張所
	〒815-0033 南区大橋3丁目17-3 電話番号：092-551-4680
東出張所 〒812-0061 東区筥松2丁目1-27 電話番号：092-624-4680	城南出張所 〒810-0044 中央区六本松1丁目2-22 電話番号：092-731-4680
博多出張所 〒812-0044 博多区千代1丁目21-16 電話番号：092-633-4680	早良出張所 〒814-0006 早良区百道2丁目1-35 電話番号：092-821-4680
中央出張所 〒810-0044 中央区六本松1丁目2-22 電話番号：092-713-4680	西出張所 〒819-0002 西区姪の浜4丁目8-28 電話番号：092-881-4680

ホームページをご覧になったことはありますか？

センターのホームページに、会員専用ページを設けています。「センターからのお知らせ」や「シルバーだより」などを画面上でご覧いただけます。是非、ご活用ください!!



●会員専用ページログイン方法

- 1 パスワード欄に出張所の電話番号を入力(下4ケタ)
- 2 「会員専用ページ」ボタンをクリック



厳しい自然と闘う箱根駅伝を見ないと新年を迎えた気分になりません。一本のたすきを引き継いで走る競技には心を打つものがあります。日頃の練習ではチームに貢献しようと、自己の記録更新をめざし走り続けています。しかし努力が必ずしも結果に結びつかない駅伝の難しさが多々あるからです。選手たちは悪条件の下(低体温症による脱水症状で途中棄権)では、スピードより冷静に自分の走りをする力こそ大事であると悟ったのです。日体大の監督は貴重な体験を生かして部員全員のコンディションを整えないと勝てないと痛感しました。まず食事・就寝時間・準備体操などを怠らないことを重視し、念願の30年ぶりのV奪還を達成しました。本気で取り組めば、何事もできるという信念と心身の強さが根底にあったからです。

新しい年を迎えますと、心身ともに充実した日々を送りたい願望が高まります。シルバーだよりが皆さんに愛読されるよう研鑽(けんさん)を積んでいきます。

今後ともよろしくお願ひします。

(I・T)

「ふくおかシルバーだより」 発行元／公益社団法人 福岡市シルバー人材センター

◎ご意見やお便りをお待ちしています。

〒812-0044 福岡市博多区千代1丁目21-16

TEL(092)643-8200 FAX(092)651-5000

HP <http://www.fukuoka-sjc.org/> e-mail honbu@fukuoka-sjc.org